

令和5年度「常陸那珂港区コンテナ貨物活性化トライアル事業」について

(1) 実施目的

新規航路の開設に伴い常陸那珂港区の新規荷主の利用が見込まれることから、今後のポートセールスの活用や施策立案等の参考とするため、荷主、船会社、トラック事業者などを対象に調査事業を実施し、2024年問題を踏まえた京浜港との比較を行い常陸那珂港区の優位性等を検証する。

(2) 実施期間

令和6年2月1日から

(3) 実施事業

新規航路を利用し実施期間において常陸那珂港区で輸出入した場合における県の示した検証項目について報告する事業者を対象に助成し、常陸那珂港区を利用した新たな物流ルートの構築に資する取組み等に対して支援する。

① 荷主向け

報告方法：レポート方式

検証項目：[基本（京浜港利用とHN港利用における比較）]

- ① 輸送費用（海上料金+陸上料金）
- ② 海上輸送に係る輸送日数
- ③ 陸上輸送における輸送時間
- ④ CO2の削減効果
- ⑤ 今後HN港利用の増加を検討する上での要望・コメント等

[追加（コンテナラウンドユースを実施した際）]

- ⑥ ラウンドユースの状況（費用、距離、CO2、コメント）

助成内容：[基本] 1本5万円の定額補助（上限100万円）

[追加] 1本2.5万円の定額補助（上限50万円）

② 船会社向け

報告方法：レポート方式

検証項目：① 利用荷主の状況（企業、品目、本数）

- ② 国内各港の実入りコンテナの揚げ積みの状況
- ③ 追加寄港に係る経費（人件費、用船料、燃料代、ターミナル経費等）
- ④ コンテナの返却状況（週単位別）

助成内容：1寄港あたり60万円の助成